



ステージと聴衆が一体となった「大いなる秋田・東京公演」|| 杉並公会堂

首都圏在住の県出身者ら

首都圏在住の県出身者らによる「大いなる秋田・東京公演」が23日、東京・杉並公会堂で開かれ、幅広い年代の165人が秋田の郷土色を表現した楽曲を披露した。武蔵野合唱団（東京）のメンバー約60人も参加。会場は約千人の聴衆で埋まり、当初予定した楽曲が終了した後も拍手が鳴りやまず、「秀麗無比なる鳥海山よ」で始まる「県民歌」を組み込んだ「大いなる秋田」を再演。聴衆も一緒になって声高らかに歌い上げ、会場は一体となった。

（小川顕）

（関連記事29面に）

「大いなる秋田」
故郷へ響き届け
東京で演奏会

鳩山由紀夫首相は23日、初めて厳しい」との認識を強調し、稲嶺進名護市長は「断固反対する」と拒否した。日米両政府は28日に合意文書を発表する方向だが、沖縄県側で反発が強まるのは確実だ。県内移設に反対する市民は「極端なことは連立離脱論も出てい

鳩山由紀夫首相は23日、初めて厳しい」との認識を強調し、稲嶺進名護市長は「断固反対する」と拒否した。日米両政府は28日に合意文書を発表する方向だが、沖縄県側で反発が強まるのは確実だ。県内移設に反対する市民は「極端なことは連立離脱論も出てい

沖縄再訪
普天間移設知

首相辺野